

## 島根県隠岐の島町 西郷港周辺地区デザインコンペの結果報告について

このたびは、西郷港周辺地区デザインコンペにご参加いただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

西郷港周辺地区デザインコンペの審査について以下のとおり報告させていただきます。

隠岐の島町は、西郷港周辺の活性化に向けて、平成30年度から「まちづくり談義」によって子ども達から大人まで誰もが参加できる住民参加型のまちづくりを進めてきました。その結果、令和2年6月には、「西郷港玄関口まちづくり計画」を策定し、まちづくりの理念と方針を定めることができました。

「西郷港玄関口まちづくり計画」の理念は、「海とまちをつなぎ、世代をつなぐまちづくり」です。この理念を実現するために、町では、「ターミナルエリア整備の意見交換会」を行い、西郷港周辺地区に求める5つの基本方針を定め、町のデザイン案をデザインコンペによって公募することにいたしました。

公募は短い期間であったにもかかわらず、全国から42のデザイナー・チームの皆さまが素晴らしい作品を提案してくださいました。

第1次審査は、全応募作品を隠岐の島町のサンテラス2階会場に展示し、町民のみなさんの意見を募るとともに、こどもたちの意見も求めました。これは広く公開された場で審査を進めるという隠岐の島町のまちづくりの趣旨に沿ったものです。

デザインコンペ審査委員会は、令和3年12月19日の第1次審査で、42の提案から6チームの作品を選びました。その後、6チームのみなさんには、第2次審査に向けて更に精度の高いデザインを提案していただくことにしました。

第2次審査にあたっては、「隠岐の島町西郷港周辺地区デザインコンペシンポジウム」を令和4年3月6日に隠岐の島町文化会館で開催することとしました。シンポジウムでは、町民の来場とともに、ZoomおよびYouTubeでライブ配信しました。これもまちづくりの公開性、透明性を実現するための工夫です。

第2次審査は、本年3月6日に、プレゼンテーションと公開シンポジウム、その後の2次審査委員会によって行いましたが、これに先だって公開展示を行うとともに、西郷小学校、西郷中学校、隠岐高等学校、隠岐水産高等学校の生徒たちからも多くの意見をいただきました。次の世代の子どもたちがすぐれたデザイン作品を見ながら、感じ、考えることが出来たことは大変貴重な体験であったと思います。

公開シンポジウムでは、クオリティの高い映像や模型も活用したデザイン案のプレゼンテーションを行っていただきました。その後の質疑応答では、提案者の方々の隠岐の島町のまちづくりに対する熱い思いが伝わってきました。

審査委員会委員のみなさんには、多角的に議論を重ねていただき、最優秀作品一点と優秀作品一点を推薦していただきました。隠岐の島町役場では、審査委員会の推薦を受けて、最優秀作品および優秀作品として決定することといたしました。

隠岐の島町西郷港周辺地区まちづくりデザインコンペにご提案いただきましたデザイン

作品は、そのすべてが町の財産です。これらは作品集としてまとめ、提案者の皆さまに配布するとともに、学校教育のなかで、まちづくりの学習に役立ててまいりたいと考えています。

最後に、デザインコンペに参加された方々の、まちづくりにかける情熱に敬意を表するとともに、デザイン案に注いでくださったご努力に心より感謝を申し上げます。

令和4年3月6日

隠岐の島町長  
池田高世偉